

徳島市のNPO「壮生」設立10年 多彩な活動 シニア集う

サークルや生活支援 会員数3倍に

シニアの生きがいづくりや就労支援に取り組んでいるNPO法人壮生(徳島市)が、設立から10年を迎えた。趣味のサークルや健康づくりの講演、生活支援サービスなど多彩な活動が人気を集め、設立時に42人だった会員は3倍近くに増えている。さらに活動の幅を広げようと、高齢者の居場所づくりなどを進めていく方針だ。



スマートフォンサークルでアプリの利用方法などを学ぶ会員＝徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島

壮生は「シニアのニ

ーズにシニアが応え、シニアで運営する」をモットーに2009年1月、60歳以上の元教師や市民団体代表らが設立した。会員は現在60～89歳の1119人。ヒューマンわーくびあ徳島(同市昭和町3)を拠点に活動している。

を開いたり、シニアカフェを運営したりしている。ビル・アパートの管理業務も請け負っている。

17年7月からは、1人暮らしの高齢者の家

事や買い物有償で引き受ける「サポート壮生」をスタート。今年6月末までの2年間で109件の依頼に応じた。

北島町高房の稲垣雅夫さん(86)は、知人に誘われて16年に入会。週2回、パソコンとスマートフォンをサークルに通っている。「ぼ

と語る。 壮生は今後、事務所周辺地域に限定しているサポート壮生のエリア拡大や、子ども食堂と連携した高齢者の居場所づくり、県内のNPOやボランティアサークルとのネットワークづくりなどを進めていく。

中村昌宏理事長(78)は「健康寿命を延ばすだけでなく、幸せに暮らせる『幸福寿命』を延ばす活動を続けた」と話している。

(新居和人) 今月14日午前11時から、徳島市の徳島グランドヴィリオホテルで10周年記念の会員交流会を開く。問い合わせは事務局〈電0888(625)6999〉。



後藤田副知事⑤にあいさつする マーカーさん＝県庁

国際交流員 独から来県

県庁で着任あいさつ 徳島県の国際交流員に独ライラント・プ

ファルツ州出身のアンネ・マリー・マーカーさん(29)が着任し、6日、県庁で後藤田副

知事にあいさつした。マーカーさんはスポーツ振興課国際スポ

ツ交流室に配属され、国際スポーツ大会や国際交流に関する業務で通訳や翻訳などを行う。任期は来年8月4日まで。

マーカーさんは「国際交流員は日独の交流を進める仕事。通訳を通じて、多くの人の出会いを大切にしたい」と述べた。

(古村藍里)

内定辞退率販売「違法」

厚労省 リクナビ行政指導

就職情報サイト「リクナビ」が学生の内定弱め、就職活動に不利を及ぼすとして、厚労省が違法と判断

し、行政指導した。厚労省が違法と判断し、行政指導した。

辞退率を算出してデータに働く恐れが高い」と厚労省が違法と判断し、行政指導した。

競泳の日本学生選手権で日大のチームメイトを応援する池江選手②6日、東京辰巳国際水泳場



全日本学生水泳 池江選手が観戦

病公表後初公の場 白血病と闘っている

競泳女子の池江璃花子選手(19)が6日、東京辰巳国際水泳場で開幕

に声援を送るなど、元気な姿を見せた。2月の病公表後、試合会場などの公の場に現れたのは初めて。

池江選手は顔にマスクをつけ、日大チームでそろえた青いシャツ